（別紙２－４）

# 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　　総括表

| | | | |
|---|---|---|---|
| 法人名 | 社会福祉法人　松涛会 | 代表者 | 斎藤　妙子 |
| 事業所名 | 小規模多機能　ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅 | 管理者 | 中堀　詔子 |

| | |
|---|---|
| 法人・事業所の特徴 | ・複合施設になっていて他部署との協力体制ができている。<br>・安岡病院、山の田内科が協力病院として緊急時等の受診などの連携ができている。<br>・施設内は家庭の延長線としての雰囲気がそのまま活かされるようにし、不安や心配事を訴えてくる利用者様には、個別に対応をしている。<br>・利用者本位の柔軟な対応に心掛け、緊急な泊りなど家族の要望の受け入れをしている。 |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 3人 | 人 | 1人 | 1人 | 人 | 7人 | 人 | 12人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|---|---|---|---|---|
| A．事業所自己評価の確認 | ・地域の方へ関わりシート等を配布する際に、事業所の重要事項説明書(職員構成などが書かれたもの）も一緒に配布するようにする。<br>・自己評価をする事で一年の振り返りをする事が出来ている。今後も全職員でケアの振り返りをし質の向上を図っていく。 | ・地域の方へ関わりシート等を配布する際に事業所の重要事項説明書だけでなく活用しているセンター方式などの資料も一緒に配布をした。<br>・日々の業務に対し、その都度全職員で振り返りを行い、利用者一人一人に沿った支援が出来る様にした。 | ＊地域住民の意見<br>・各項目、改善計画は適切な内容・現状出来るであろう事を良く探し出していると思う。項目によっては5割の方が出来ていないと評価している。<br>＊事業所職員の意見<br>・職員の専門知識だけでなく観察力や感性を鍛えるのも大事な事だと思います。 | ・職員によって設問の受け取り方も違う為、自己評価をしてもらう際に口頭や文章にて説明を付け加え配布するようにする。<br>今一度出来ていない項目を確認し、何故出来ていないのかを話し合いその原因・背景を探り改善に向け全職員で取り組んで行く。<br>・日々の業務を通し職員一人一人が都度声掛け・注意をしあいスキルアップの意識を持ち業務に取り組んで行く。 |
| B．事業所のしつらえ・環境 | ・施設からの騒音に対しては本部を交えて連携を取り対応して行く。 | ・騒音に対しては本部を交え対応を行っている。施設周辺の交通ルールも守っている。<br>(施設から車で出る際の右折禁止等) | ＊地域住民の意見<br>・騒音に対しては改善を期待しています。施設周辺の交通ルールも十分気をつける様にして欲しい。 | ・今後も騒音に対しては本部を交え対応をして行く。施設周辺の交通ルールも送迎時通勤時等注意し守って行く。<br>又、来所した家族や業者等へも協力をお願いする。 |
| C．事業所と地域のかかわり | ・今後も挨拶については継続の課題としていく。フロイデ金比羅職員に対し地域住民への挨拶の意味や重要性を理解してもらい施設全体で挨拶をする様取り組んで行く。<br>・イベントの開催については時間帯や場所など実施可能な条件付けをしたうえで提案、話し合いをするようにしていく。 | ・継続し通勤時など地域の方と会う機会がある時は挨拶を行い関係性を深められるようにした。<br>・金比羅地区での徘徊模擬訓練など地域の方々と開催する為、打ち合わせなどもしていたがコロナウイルスの影響により開催する事が出来なかった。<br>例年行っている施設行事も開催が出来なかった。<br>(海峡花火大会の観賞、勉強会等) | ＊地域住民の意見<br>・地域との関わりについて何かと工夫し取り組まれていると思います。挨拶は昨年に比べてする人も増え良くなっています。欠かさず続けて欲しい。<br>・コロナウイルスの影響もあり地域との交流や行事が出来ないのは仕方がないと思います。収束したらまたイベントを開催して欲しい。 | ・コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。<br>今後も地域の方と顔をあわせる機会がある時は、必ず挨拶をするなど今できる事を行い信頼関係が築けるよう努力をして行く。 |
| D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | ・地域行事への参加については参加ができるよう人員配置の調整や内容の把握をし、また可能な日程等を事前に伝える様にする。<br>・行事だけでなく毎日の関わりから地域の方との関係を深めていけるように努力をしていく。そのためにも、職員から積極的に挨拶をする。 | ・毎年参加している地域行事(オレンジカフェ西部地区文化祭等)はコロナウイルス感染予防の為、開催されず参加・交流には至らなかった。<br>・コロナウイルスの影響により、行事を通して地域の方と交流する機会が少なかったが日々の挨拶を職員から行うなど関係性を深められる様に努力をした。 | ＊地域住民からの意見<br>・現状ではコロナウイルスの為、イベント等への参加・交流は難しいと思う。<br>＊事業所職員からの意見<br>・コロナウイルスの為、地域の方との顔合わせが難しくなっている。今できる事、些細な事で良いので実施してもらえたらと思います。 | ・コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。<br>又、日々の取り組みを外部へ向けてホームページ等を活用し発信して行くようにする。 |
| E．運営推進会議を活かした取組み | ・今後も清掃活動や施設行事、地域資源を活用したレクリエーションなど日々の活動を通してフロイデ金比羅をアピールし、地域に根ざした事業所を目指していく。 | ・季節での行事や(初詣・花見等)レクリエーションなどを通じ金比羅地区の地域資源の活用を行った。行事についてはコロナウイルスが流行する前には施設主催のバザーやまちづくり協議会主催の門松作りに参加し地域の方と交流する事が出来た。 | ＊地域住民からの意見<br>・コロナウイルスの状況にもよるが収束したら、開催予定であった金比羅地区の徘徊模擬訓練などイベントが出来たらと思う。 | ・コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。<br>又、継続し日々の活用を通して(行事やレクリエーションなど)金比羅地区の地域資源の活用・アピールを行っていく。 |
| F．事業所の防災・災害対策 | ・避難訓練だけに限らず、AEDの使い方や消火器の使い方など地域の方に興味を持ってもらえるような内容を考え、参加の呼びかけも文言を変えてみるなど工夫する様にしていく。 | ・コロナウイルス感染予防の為、外部の方の館内への出入りが規制されており避難訓練など地域の方の参加が難しかった。 | ＊地域住民の意見<br>・災害時、避難所となっているので頼りにしています。今後、訓練でAEDや人工呼吸などがあれば参加したいです。 | ・コロナウイルスが収束し規制緩和がなされた時は、地域の掲示板や回覧板・運営推進会議を活用し地域の方へ参加を呼びかけて行く。<br>又、参加しやすい様に日頃から挨拶などを通してコミニュケーションを取り関係性を密にして行く。 |